

【令和5年度実施】瀬戸市職員採用試験<キャリア採用> 合格者の声

No.	合格者の声
1 (事務職)	<p>地場産業である窯業のブランド力や人流に欠かせない鉄道を2路線7駅有している点、そして隣接自治体にジブリパークがある点などが、今後の街の発展につながると感じて「まちづくりや観光戦略に携わることができたら」と志望しました。前職も他自治体職員で、業務と採用試験を並行して行うのは一苦勞でしたが、面接などを通じて求められる職員像などを確認できました。ご縁をいただいた恩義と自信を大切に、改めて街の発展に寄与したいと思っています。ぜひ私たちと一緒に切磋琢磨して未来の“瀬戸市”を作りましょう！</p>
2 (事務職)	<p>前職では、他の自治体で10年以上勤務していましたが、仕事と家庭の両立に悩み、家からより近い瀬戸市を受験しました。試験では、面接の質問内容等から面接重視で、受験者の内面を見ようとしているのかなと感じました。私は話すのが得意ではなく、さらに久しぶりの就職活動だったので、面接では特に緊張していましたが、話しやすい雰囲気にしてくださったのが印象に残っています。一般的な試験対策も大事ですが、どのような質問を聞かれても自分の言葉で答えられるよう、自分自身の内面や過去の経験と向き合うことが必要だと思います。</p>
3 (技術職・土木)	<p>前職では土木の現場監督として働いてました。もともと物づくりに直接関わって完成した構造物に対して達成感を感じることで仕事にやりがいを感じてきました。しかし、複数の現場を転々とするため、一つ一つの思い出や達成感を感じた記憶が薄れてきていることに気づきました。そこで私は瀬戸市の職員になることで常に瀬戸市の身近で寄り添いながらより良いまちづくりに貢献したいと思うようになりました。面接では瀬戸市の魅力や自分の感じたことを思いのままにぶつけてください。健闘を祈ります。</p>
4 (技術職・機械)	<p>前職では技術者として、自動車のアフターサービスを提供し社会貢献の一端を担ってきました。この経験を通じて、自動車以外にも市民生活と社会づくりに広く貢献したいと考え、前職の瀬戸市での勤務経験や妻の出身地としての縁から瀬戸市を受験しました。採用試験は人物重視であり、これまでの経験や得た学びをどのように活かすか将来の展望を簡潔明瞭に伝えることが合格の鍵になると感じました。受験者の皆様へ、仕事と受験の両立は大変ですが、熱意があれば良い結果に繋がりますので最後まで頑張ってください。</p>
5 (技術職・機械)	<p>公務員を目指したのは民間では経験できない地域社会の貢献を最も重要視して業務を行えるという点を魅力に感じ、採用試験を受けました。私は民間での業務経験を通して、働く上で職場の風土、業務内容が自分に合っているかが非常に重要と実感しました。試験を通して感じたのは無理に背伸びして自分を繕わず、ありのままの自分を面接でアピールすることが重要だと感じました。私の経験上、自分を取り繕って合格したとしても入庁してからが大変だと思います。来年の受験生の皆さんが自分に合った職場を見つけられる就職活動、転職活動になることを願っています。</p>
6 (保健師職)	<p>前職の経験を活かして、瀬戸市民の方が健康で安心して生活が送れるように支援がしたいと思い瀬戸市役所を志望しました。面接の雰囲気は穏やかで、面接が苦手な私でもしっかりと熱意を伝えることができました。試験はとても緊張しますが、リラックスして頑張ってください！</p>

【令和5年度実施】瀬戸市職員採用試験<キャリア採用> 合格者の声

No.	合格者の声
7 (保育職)	<p>大学卒業後、他市で正規職員として勤め、民間保育所でも非正規職員として働きました。保育士として定年まで勤めるならば、公務員であると安心して働けると経験から感じ、公務員を再び目指しました。瀬戸市は人物重視の採用であり、試験内容も今までどんな仕事をしてきたのか、自分の強みはどんなところかを丁寧に聞いてくださいました。試験はもちろん緊張しましたが、あたたかい雰囲気の中受験することができました。正直に、誠実に、自分をアピールできるとよいと思います。</p>
8 (保育職)	<p>私が生まれ育った瀬戸市で公務員となり、子どもたちの成長を見守りたいという思いや、新しい場所では会う方々からまたいろいろと吸収して保育士としてのスキルアップを目指していきたいという思いがあり受験しました。試験は緊張しましたが、職員の方はとても温かく丁寧に接していただき、試験後にはやりきった安堵感と共に職員の方の優しさに触れられて心が温まったことを覚えています。新しい環境に飛び込むことは期待や不安があり、勇気のいることだと思いますが、自分を信じて頑張ってください。応援しています。</p>